

2022年5月20日(金) 第2874回例会 形式:対面 天候:晴れ 合唱:我等の生業

会長 室伏 学 幹事 望月 博文

事務所:神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会内 TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716

例会場:ニューウェルシティ湯河原 例会日:毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

室伏 学

先週の土曜日、5月14日に次年度幹事研修が藤沢ミナパークで開催され、出席いたしました。達成できるように、目標は低めに設定することが望ましい、というお話が印象的でした。また、

同じ日に会員増強セミナーも開催され、青木次年度会長と2名で出席いたしました。その席で報告された大変残念なニュースがございます。報道等で既にご存知の方もいらっしゃるかも知れませんが、兵庫県のあるロータリークラブの会員4名が5月12日に逮捕されてしまった、とのこと。詳細には触れませんが、内3名は会長経験者、1名は青年会議所の元・理事長とのこと。直接的にはロータリーの活動と関係ないようですが、世間のロータリーに対するイメージが低下してしまったのは間違いありません。当クラブ会員の皆様も、言動には十分にご注意ください。会員増強セミナーでは、質よりも量を重視して、会員の知り合いでなくても、誰でもいいから片っ端から声を掛けて誘う、という情熱的な事例紹介がとても印象的でしたが、ややタイミングが悪かったようにも感じられました。

一昨日、5月18日に「みんなのまちづくり教室」として、千歳川・中河原橋付近で、湯河原小学校4年生の皆さんをお迎えて、深澤会員が会長を務める「菜の花会」の皆さんを中心に、コスモスの種まきを実施されました。当クラブからも、深澤会員を始め、土屋会員、神谷会員と、私の4名が参加いたしました。夏のような好天の下、熱中症に注意しながら、子どもたちを誘導し、一緒に石を拾い、草を抜き、菜の花の種を配り、指導したり、というお手伝いをいたしました。私は今回が初めての参加でした。私には子供が2人おりますが、既に成人しており、孫はまだおりません。久しぶりに小学生の子どもたちと交わっての協働となり、とても新鮮な思いがいたしました。8月か9月頃には色鮮やかな花が咲き乱れることでしょうか、今からとても楽しみです。

幹事報告 連絡事項 なし

出席報告

会員	25名	出席率	83.33%
欠席	5名	前回の修正出席率	86.96%
(免除者)	1名	前々回の修正出席率	79.17%
ゲスト	0名	事前メイクアップ	0名
ビジター	0名		

スマイルBox

深澤昌光君

コスモスの種まきの助成金をいただきありがとうございます。また18日コスモスの種まきについてご協力いただきましたことを感謝申し上げます。

常盤孝司君

新型コロナへ動向が不安な中、当薬局においても抗原検査無料事業の開設許可を戴くことができました。お出掛けや会合の後、感染に不安な方の御相談を承ります。

渡辺久恭君

女子プロゴルフトーナメントほけんの窓口レディースで渡邊彩香プロが何とか優勝できました。

高杉尚男君

5月10日宅建協会小田原支部の総会にて4期8年務めた支部長を無事退任することができました。

会員誕生日



高杉尚男君
5/19

会員誕生日



高知尾朝行君
5/26



こんにちは。今回の卓話では、雨の季節も近づくということで、災害に関するお話をさせていただきます。

1. 豪雨災害について

近年は毎年のように、日本各地で猛烈な豪雨とそれに伴う災害が頻発しています。

記憶に新しいところでは、令和2年7月の球磨川流域での豪雨災害(熊本県芦北町における7月3日から12日までの10日間の合計降水量が701ミリ、人吉市で814ミリ)を思い起こさずにはられません。このように大量の降水がもたらされた要因としては、①インド洋の高い海水温 ②線状降水帯の継続(11時間)が挙げられており、加えて日本三大溪流とも呼ばれる球磨川の流速が、流域での被害を甚大なものとしてしまいました。また豪雨は梅雨の時期のみならず、台風シーズンにもしばしば発生します。一例として令和元年10月には「令和元年房総半島台風」「令和元年東日本台風」が相次いで東日本地域を直撃し、後者ではアメダス箱根で1001.5ミリ(10月10日～12日の総雨量)という途方もない雨量を観測し、箱根をはじめとした東日本一帯に大きな爪痕を残しました。今後、梅雨から台風シーズンに向かうにあたり、私たちはこうした局地的な豪雨への備えを改めて考える必要があります。

さて、毎年深刻化しているようにもみえる豪雨災害ですが、その要因のひとつである「線状降水帯」について、気象庁による予測が開始されるといった動きも出てきています。元来線状降水帯は予測が難しいものでしたが、大学等の複数の研究機関と連携しての線状降水帯メカニズム解明に向けた高密度集中観測、あるいはスーパーコンピューター「富岳」を活用しての、予報モデルに基づくリアルタイムシミュレーションなどを用いることで、予測精度向上のための努力が続けられています。今後、令和11年度には、市町村単位での情報提供を目指すなど、線状降水帯による豪雨災害の防止や軽減に向けた予測精度向上の取り組みが続けられていくようです。

なお湯河原町域では、幸いにもここ数年は大きな災害に見舞われることなくきておりますが、その幸運もいつまで続くかは分かりません。ぜひ「ゆがわら防災マップ」「ハザードマップ」

を活用し、防災に対する意識の向上を心がけていくことが求められています。

2. 南海トラフ地震への備え

災害への備えという観点では、来たるべき「南海トラフ地震」への対応も大きな課題です。南海トラフ地震とは、駿河湾から日向灘沖(宮崎県)にかけてのプレート境界を震源域としての大規模地震であり、過去に当地を震源とした地震は沿岸に大きな被害をもたらしてきました。湯河原町も南海トラフ地震によって最大震度6弱以上の揺れに見舞われると予想されており、沿岸部は津波の発生も懸念されます。

先に述べた豪雨災害と同様に、地震への備えも万全としておくことが望まれます。しかし地震はある程度予測が可能となってきた豪雨災害と比較し、突然やってくるものであり、その対応も冷静かつ的確に行わなければなりません。具体的には、「揺れを感じたらまず身を守る行動を」、家庭では頭を保護し、机の下などの頑丈な場所に隠れること、屋外ではブロック塀や電柱、自動販売機など、倒れる危険のある場所から離れること、沿岸部では津波の発生・襲来に備えて、安全な場所(内陸、または高い場所)に避難することが求められます。

以上です。ありがとうございました。

みんなのまちづくり教室(コスモスの種まき)

5月18日(水)、千歳川中河原橋付近にて、菜の花会(代表:深澤昌光会員)を中心としたコスモスの種まき活動が行われました。湯河原ロータリークラブからは社会奉仕活動として、室伏会長、土屋会員、神谷会員(と深澤会員)が参加しました。



活動の様子(撮影:室伏会長 参加者の顔を加工しています)

(編集 5月会報担当:深澤昌光/クラブ会報委員会)